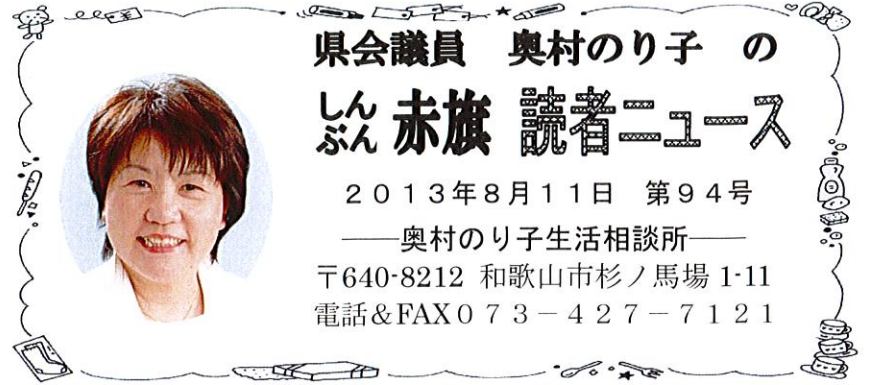


県議員 奥村のり子の
しん赤旗 読者ニュース

2013年8月11日 第94号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
電話&FAX 073-427-7121



夜間も無灯火で飛ぶオスプレイ
2階の電気つけ居住を告知

7月28日から30日、県議団のみなさんと沖縄視察に行かせていただきました。昨年の10月1日から普天間飛行場にオスプレイの配備が強行されました。そして視察中にも岩国に追加配備のオスプレイが運び込まれる中、普天間基地を見下ろす展望台に立ち、ぞっとしました。「現在も住宅上空を飛び、学校や保育園、病院の上を飛んでいます。宜野座村のある方はオスプレイが屋根スレスレに飛んで行き、夜間も無灯火状態でオスプレイの音がしたら二階に駆け上がって明かりをつけ、人が住んでいることを知らせなければぶつかるという危険性を感じながらの日々を送っている」と平和委員会の与儀さんの説明を受けました。

与儀さんは「オスプレイが墜落の危険性が高いということだけではなく、軍用機であることが問題です。」と言われハッとしました。沖縄の負担軽減どころか、米軍基地の強化です。

沖縄北部の東村高江では、6カ所の新しいヘリパッドがつけられようとしているなか、住民の方や民主団体の方が強い日差しを跳ね返してテントを構築、交代しながら監視を続けているところへ激励に訪れました。テント近くのゲート入り口では、米兵がじつとこちらを見ていましたが突然、威圧的に「ダメ、ダメ」と言われ、すぐに何が起ったかよくわかりませんでした。私がゲート手前の黄色い線を踏

党県議団が沖縄視察



名護市辺野古のキャンプ・シュワブ前で



「少年H」に

先週の「赤旗日曜版」のド真中2面見開きワイド特集で、映画「少年H」をめぐって降旗康男監督と主演の水谷豊さんの対談、お読みですか？ 原作は妹尾河童(せのおかつ)さん。その自伝的小説で16年前に刊行され340万部の大ベストセラーの映画化。

昭和12年頃の神戸で胸に「H」と編みこんだセーター姿の、好奇心と正義感、いたずらが旺盛な少年Hがいた。忍び寄る戦争の恐怖はHの遊び仲間のごん屋の兄ちゃんが警察に逮捕とか、オト「姉ちゃんに召集状がきて」「パンザイ」で送られ兵役に行つたはずが、自殺しているのをHが発見。やがて昭和20年3月大空襲で神戸は焼け野原に。H一家は…。

Hが現在に問いかけるものは何か。私も昭和20年7月、5歳と2日目に和歌山大空襲で焼夷弾の炸裂する只中を逃れ、南紀の山村でツヤ粥をすすった貧困生活を回想。いま、日本の権力者がナチスに学んで憲法を変え、再び戦争できる国をめざす時代。H少年に出会って平和への勇気を頂こうと思う。

ジストシネマで8月10日から上映。(編集室)

のり子の週間日誌 (主なもの)

8月9日	市駅前宣伝、団体訪問、党の会議
10日	下津大崎訪問、楠見後援会
11日	演劇鑑賞会
12日	地域訪問 宣伝
13日	休み
14日	休み
15日	終戦記念日街頭宣伝

Relay talk

8月3日。おどるんや紀州よさこい祭りの見物に行きました。よさこいの参加チーム、101チームは過去最高の参加数。同日開催のぶんだらと合わせて大賑わい。娘と一緒に見物です。会場に着くなりあちこちに歩き回り目が離せません。踊りが好きなように、今思えば舞台の見やすいベストポジションを探していたのかもしれない。列に並んでいる間もそれぞれでも力キ氷が手に入るとピタッとおとなしくなり、夢中でおぼついています。

「おどるんや」の公式キャラ



「おどるんや」の公式キャラのゆるめちゃん

娘と見物、どうやら踊りが好きなようで

党市・青年部長
中村 朝人

しばらく休憩し、少し一ノ橋方面へ歩きはじめると、突然、走り出し自動販売機でジュースのおねだり。「さつき食べたや」と一言言うところ、みるみる口元が歪み大泣きです。しかし一ノ橋方面へ歩きはじめると、突然、走り出し自動販売機でジュースのおねだり。「さつき食べたや」と一言言うところ、みるみる口元が歪み大泣きです。

きです。しかし、スーパーボールすくいの前でピタリと泣き止み、お次は大好きなアンパンマン、金魚すくいと事あるごとにまるで亀さんの歩み。やむなく娘を抱え上げ、焼きそばを購入しシートを敷いて一休み。帰り際にぶんだらとよさこいで、また娘のうろちょろが……。この時に聞いたのですが、どうも踊り(ダンス)は好きなのです。出演者の方々に寄って行ったり、舞台上に近づいたりする始末。最後は、良く見えるようにと肩車。その上で踊り(暴れ)だし、気付けば私が彼女の舞台のようでした。多少疲れましたが、最後まで上機嫌だったので、良い思い出になりました。

さつ、「よさこい」は、今年で10回目、「ぶんだら」は45回。港祭りと合わせ、大イベントと言うそうです。24日の孫市祭りも楽しみます。